

2008年10月29日

三井住友海上グループホールディングス株式会社

三井住友海上グループホールディングス「CSRレポート2008」を発行

三井住友海上グループホールディングス株式会社（社長：江頭 敏明）は、三井住友海上グループにおけるCSR（企業の社会的責任）の取組みを紹介する資料「CSRレポート2008」を発行しました。

本レポートは、CSRの取組みの現状と課題、将来に向けてのビジョンなどを掲載したもので、三井住友海上社で2004年度から毎年発行していたものを、今年4月に持株会社を設立したことに伴い、今年度から持株会社として発行しました。昨年度から継続して取り組んでいる品質向上の活動に加え、地球環境の保護や交通安全に関する諸活動についても掲載しています。

1. 「CSRレポート2008」の特徴

- (1) 「お客さまとの接点における品質向上」において、2つのテーマを掲載しています。
商品・サービスの品質向上
品質向上を支える社員がハツラツと働くために
- (2) 「豊かで持続可能な社会づくりに向けて」として、2つのテーマを掲載しています。
地球環境を守る
交通事故を減らすために
- (3) ページ数は32ページで読みやすい分量としており、環境関連、CSR会計の詳細データや各地の社会貢献取組みは、三井住友海上グループホールディングスオフィシャルサイト(<http://www.msig.com/>)にも掲載しています。
- (4) 昨年に引き続き第三者意見として、社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事の古谷由紀子氏からコメントをいただいています。

2. 仕様等

A4版、4色刷、32ページ、3.3万部作成

3. CSRレポート小冊子

本レポートに加え、「CSRレポート小冊子」も用意しています。三井住友海上社の環境の取組みを簡潔にお知らせする12ページのコンパクトな冊子です。より多くのステークホルダーの皆さまに積極的に配布していきます。

以上